

## 第1部 オビー(緑)の聖域

### コミッサオン・ヂ・フレンチ 「先住民の祖先、生ける自然」

振付 アレックス・ネオラウ

滑稽とも思える様子で、先住民の祖先たちが自然の中に立ち上がる。その頭部に花の美しさを表現した羽根飾りが載せられている。木の梢ごとに、北を示す星が見える。そして緑の部族の団が、護石ムイラキタンをもたらす。

### メストリ・サラとポルタ・バンデイラ(第1ペア) フェリッピ・レモスとハファエラ・テオドロ 「ガヴィアオン・ヘアウ(オウギワシ)の力」

トウピナンバ族の儀式に登場するガヴィアオン・ヘアウ(オウギワシ)の姿を表現する。トウピナンバの人々は、儀式によってオウギワシの力と強さを身に着けることができると信じていた。

### メストリ・サラとポルタ・バンデイラ(第1ペア)のエスコート隊 「オビーの聖域の鳥」

第1ペアに付き添って、ダンサーたちは緑の鳥の群がオウギワシの到着を迎え入れる様子表現する。

### ショー・グループ 「トウピナンバの聖なるマント」

トウピナンバ族の先祖霊を表す彼らの装束は、聖なる羽根飾りをつけたマントに代表される、大首長たちの姿を模している。

### 第1アーラ 「トウピナンバの食人習慣」

ヨーロッパ人と最初に接触した先住民がトウピナンバ族だった。勇猛な戦士であることと、食人習慣があることで恐れられていた。

### 第1山車 「ハモスの宝物がオビーの聖域に輝く」

森の中に浮かびあがる、インペラトリスのシンボルである皇后冠。銀の馬にまたがった女たちは、ムイラキタンの伝説の始まりを表す。インディオと動物たちが隣り合って暮らす森で、ミコ(タマリン)たちが揃って踊る。

## 第2部 パラーの諸部族

### 第2アーラ 「果物を持つチリヨ一族」

自然を守るインディオの能力を表現する。

### 第3アーラ「魚を持つカラジャー族」

カラジャー族のインディオの装束を基にした衣装で、彼らの漁撈方法を表現する。

### 第4アーラ「マラジョアーラ焼の陶器を持つマラジョー族」

パラ—に暮らすインディオたち特有の陶器であるマラジョアーラ焼から着想を得た衣装。

### 第2山車「芸術が形作るマラジョー島」

マラジョー島に暮らすインディオたちの芸術活動性向に基づいて作られた山車で、同地の名物的要素を表現する。山車自体がマラジョー島の形をなぞり、そこには、まだ野生の水牛が生息している。

### 第5アーラ（バイアーナス）「タパジョー焼の陶器を持つインディオ女性たち」

アマゾン川流域で最も発達した文化を持つとされる、先住民のタパジョー族の集団を表現する。

### 第6アーラ「カイアポー族と動物」

パラ—の豊かで活気のある動物相および、それと先住民との関わりを表現する。

### 第3山車「“カライーバ”（白人）が謎めいた聖地に出会う」

パラ—の富を開発すべくやってきた白人の姿を、船と一帯の宝物で表現する。先住民のシャーマン（祈祷師長）が反抗運動を主導する。

## 第3部 野望の風が吹く！

### 第7アーラ「人生を賭けた金探掘」

金色の金鉱堀の姿で、ゴールドラッシュの様子を表現する。

### 第8アーラ「パラ—の栗の木」

パラ—の主要製品のひとつである栗について、収穫にあたる人々の姿で表現する。

### 第9アーラ「パラ—の鉱夫」

埋蔵されたダイヤモンド、アメジスト、トルマリンなどの採掘について、パラ—の州旗を持った鉱夫の姿で表現する。

### 第10アーラ「ゴムの森」

ゴムの木について、樹液採取用につけられる赤いマークを施された、樹液と同じ白い色の木々の姿で表現する。

#### 第11アーラ「ゴム貴族」

ゴム採取の富によって力を得た人々。

#### 第12アーラ「ベル・エポックの豪華さ」

ゴム採取の勃興によって新興事業家の所得が拡大し、ヨーロッパから各種製品、服飾品、そして贅沢な習慣が導入されるようになった。

#### 第4山車「チアトロ・ダ・パス（平和劇場）」

当時の各種主要産業でゴムが多用されていたことで、パラ―では富の拡大と景観の改善が起こった。当時を偲ばせる遺産のひとつが、ゴムの黄金時代の豪華さと富を象徴するチアトロ・ダ・パス（平和劇場）である。その内装には、その富の源泉であるゴムが採取されたゴムの木々の姿が描かれている。

### 第4部 カボクロの宝石

#### 第13アーラ「ミリチ（ヤシ繊維）のおもちゃ」

しなやかなミリチヤシの幹から、様々な形に加工される、名産品であるおもちゃ類。

#### 第14アーラ「パラ―の編みかご」

世界的に知られた、パラ―名産の編みかご。

#### ハイ―ニャ・ダ・バテリア クリス・ヴィアーナ「マラジョアーラの宝石」

#### 第15アーラ（バテリア）「陶芸」

特徴的な柄をもつ、パラ―の陶芸を称える。

#### 第16アーラ（パシスタス）「宝石たるインディオ」

先住民こそ、パラ―州にとって最も大切な宝石である。

#### 第17アーラ「パラ―の漁師」

河から得られる漁獲で暮らす人々の知恵。パラ―の典型的な漁師と魚の姿。

#### 第18アーラ（バイアニーニャス）「タカカー売り」

特徴的な碗で、唐辛子をそえて提供される、パラ―の名物料理タカカーの売り子たち。

#### 第19アーラ「小売市場の店員たち」

パラ―の様々な風味、色、香りを提供する、小売市場の店員たち。

#### 第5山車「ヴェール・オ・ペーゾ市場」

グワルジャ―湾に面したヴェール・オ・ペーゾ市場は、文化観光の中心地である。古い建造物が並ぶ自由市場では、アマゾンの特産が売られ、また民俗文化の展示会場としても機能している。

#### 第5部 パラ―とともに踊れ！

#### 第20アーラ（作曲部）「シンガー・ソングライターのピンドゥーカに捧ぐ」

この地域特有のリズムであるカリンボ―の「王」と目される大衆音楽の大家、ピンドゥーカを称える。

#### 第21アーラ「ボイ(牡牛)が通りに」

パラ―の伝統行事「オ・ボイ・ヂ・マスカラ(仮面の牡牛)」では、色とりどりの衣装と仮面を身に着けた人々が、牡牛を称えて踊る。

#### 第22アーラ「サイレー」

宗教的な性格もあわせもつサイレーは、主に下層民が楽しむ祭である。

#### 第23アーラ「イルカ祭がある」

サンタレンでは、民話に基づいてトゥクシーと呼ばれるピンクと青の川イルカ(コビトイルカ)を称える祭が行われる。

#### 第24アーラ「カリンボ―を踊りながら」

パラ―州を代表するリズムであるカリンボ―を、特徴的な衣装に身を包んだペアダンスで表現する。

#### 第25アーラ「パラ―のマルジャーダ」

聖ベネチートに捧げる祭で、特徴的な赤いスカートを身に着けてマルジャーダを踊る女性たち。

#### デスタッキ・ヂ・シャオン ミウトン・クーニャ「テクノ・ショーのカルナバレスコ」

#### 第6山車「パラ―、テクノ・ショー」

DJによるピックアップの新しい流れ。伝統的なリズムと単純なメロディーを組み合わせ、活発な電子的アレンジを施した、トレーミ。この地域で流行しているテクノポップの派生形である。この流

行により、スピーカーを装備した自転車まで、よく見られるようになった。

## 第6部 聖母の祝福の下で！

### 第26アーラ「精霊信仰」

カトリック系の宗教的伝統の紹介の手始めに、精霊信仰を、その最も一般的な形態である大きな鳩を用いて表現する。

### 第27アーラ（ヴェーリャ・グワルダ）「信者たち」

ナザレのロウソク祭で、ナザレの聖母に祈る信者たちの姿。

### 背景（小出車）「ロウソクが通る」

信仰、そしてロウソクの到着を告げる知らせ。

### 第28アーラ「パラーの教会」

パラーの教会の建築様式を模した衣装で、当地域の文化に色濃く残るカトリックの影響を顕彰する。

### 第29アーラ（クリアンサス）「天使巡行」

ナザレのロウソク祭における天使の巡行を模して、篤い信仰と宗教的伝統が残されていることを表現する。

### 第30アーラ「巡礼者」

願掛けやお礼参りの内容を表す物を手にした巡礼者たちの姿。

## 第7山車 ナザレの処女聖母の祭壇

バロックスタイルの教会、肖像を運ぶ輿、巡礼者、引綱、ナザレの聖母に捧げるべく撒かれた白いバラといった主な要素を用いて、我が国最大の宗教行事であるナザレのロウソク祭を表現する。